

研究・調査報告書

報告書番号	担当
214	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)	
Patterns of alcohol use, problem drinking, and HIV infection among high-risk African women. ハイリスクなアフリカの女性集団における飲酒パターン、問題飲酒と HIV 感染	
執筆者	
Fisher JC, Cook PA, Sam NE, Kapiga SH.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Sex Transm Dis. 2008 Jun;35(6):537-44.	
キーワード	
アルコール、飲酒行動、女性、HIV、性感染症	
要 旨	
<p>目的： ハイリスクのアフリカ人女性集団において、飲酒パターンと HIV 感染の関連を検討し、さらに問題飲酒と HIV 感染危険因子との関連を評価する。</p> <p>方法： ベースラインデータは HIV 感染の危険因子調査のための前向きコホート研究に 2002 年と 2003 年の間にエントリーした 1050 人の女性より得た。人口学的情報や就業状況、性行動、飲酒パターンについての情報は、面接により得た。問題飲酒を評価するために CAGE 質問票を使用した。飲酒に関する尺度と HIV/性感染症感染、性行動との関連は、オッズ比、調整後のオッズ比 (AOR) および 95 % 信頼区間 (CI) を用いて検討した。</p> <p>結果： HIV 陽性であった者は 19.0% (95 %CI 16.6 %-21.4 %) であった。女性全体の 73.9 パーセントに飲酒習慣があり、34.6 % は問題飲酒と分類された。身体計測値や就業に関する変数の調整後、飲酒者は非飲酒者と比較して HIV 陽性リスクが上昇していた (AOR 2.10; 95 % CI, 1.29-3.42)。飲酒開始からの期間、頻度、摂取量により示されるアルコール関与度が大きいと、このリスク上昇と関連した。問題飲酒者は、非問題飲酒者と比較して HIV 陽性のリスクが上昇していた。(AOR 1.79; 95 % CI 1.06-3.04 vs. AOR 2.43; 95 %CI 1.45-4.06)。問題飲酒者は、数種類のハイリスクな性行動をもつ傾向があり、HSV - 2 を含む他の性感染陽性であるリスクも高かった。</p> <p>結論： 飲酒の制限、あるいは禁酒を促すプログラムにより、ハイリスクな行動を減らし、この集団における HIV/性感染症の負担を軽減することに役立つかもしれない。</p>	